

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川 建三

JR東労組

本部OB会

ニユース

No. 213 2015年 4月発行

東日本大震災と福島第一原発事故から4年

被災地と被災者の現状は

あの甚大な被害を出した東日本大震災と福島第一原発事故から、丸4年がたちました。JR東労組OB会の仲間も、地震と津波によって自宅を壊されたり、原発事故による長期の避難生活を強いられるなど、大きな被害を受けました。

去る3月11日安倍首相は、15年度までの「集中復興期間」の5年の復興状況と、16年以降の後期5年間の復興支援を明らかにしました。しかしその内容は、計画の遅れと原発事故終息の困難さを際立たせただけでした。

本部OB会は、昨年の春被災地の復興状況を見て回り、その内容を「我々の声」第15号に掲載してきました。今年も、丸4年経った復興状況や被災者の声をお届けします。

復興よりオリンピックと「戦争」のできる国づくり

「集中復興期間」が来年3月末で終了しますが、岩手、宮城、福島の3県の復興が大幅に遅れています。計画された防潮堤の完成は8%で、37%が未着工のままです。そればかりか、住む場所が定まらない避難者が、今なお約23万人もいます。

計画の遅れの理由を「用地取得の難航」、「資材の高騰」、「人手不足」等々上げていますが、本当は政府が本腰を入れていないからです。

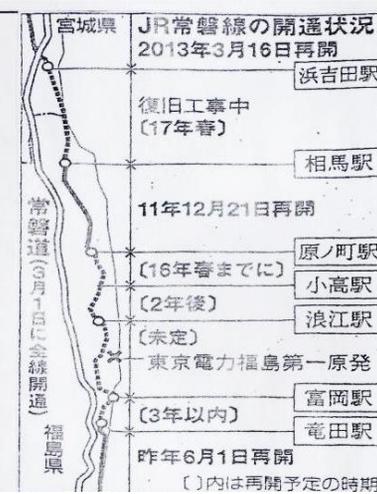
震災被害状況	死者	15,891	3月10日現在
	行方不明者	2,584	〃
	震災関連死者	3,222	2月末まとめ
	避難者	22,883	1月末まとめ

政府は、国威発揚の「2020東京オリンピック」や「安全保障法制整備」、「憲法改正」等の「戦争のできる国づくり」の政治を最優先しているのです。

見通しの立たない常磐線の全面開通

多くの住民から熱望されているJR常磐線の全面開通も、原発事故現場から近い浪江―富岡間の開通見通しが、全くたっていないままです。

働いていた多くの組合員も、遠くの勤務地に転勤になったままです。



被災したOB会員の今

この東日本大震災と福島第一原発事故によって、JR東労組OB会の会員も、家屋の全壊や原発事故で避難生活を強いられるなどの大きな被害を受けました。

地震と津波で自宅が全壊した15

名は、今なお仮設住宅で生活している人、自宅を再建した人等様々ですが、皆さん健康で過ごしています。

また原発事故で避難した会員も、そのまま避難先で生活している人と、除染作業を終えて自宅に戻った人等がいます。

今でも水戸地本の原ノ町支部やいわき支部のOB会は、大変な苦勞をしています。

自宅全壊者の現在の住宅状況	人数
仮設住宅	4
民間アパート	2
自宅再建	9

被災者からのひとこと

仮設住宅生活も、三年数ヶ月が経ちました。

今後の課題は、災害公営住宅に入居する人と、自立再建を目指す人とに分かれます。資材不足と坪単価の高騰で自立再建も大変です。私も自立再建を目指していますが、厳しいのが現実です。

盛岡地本OB・小林一二三

私は、津波で全壊流しの被害を受けましたが、地域では186名の犠牲者が出ました。そんな中OBの方がバスで来仙され、現地を視察して頂き、大きな熱い絆を感じました。

私のいた地域は、危険地域となり、集団移転を希望して、区画も決まり、4月より再建できる事になっています。

仙台地本OB・佐藤初男

大宮・宇都宮支部OB会

国会見学と「たしろかおる」 激励バスツアーを行う

たしろかおる議員の地元宇都宮支部OB会は、3月10日に「たしろかおる議員激励と国会見学及び第5福竜丸展示館見学」を、本部OB会とたしろ議員の事務所の御協力で行いました。

昨年の暮れに一度予定をしていましたが、安倍首相の「大儀なき衆議院の解散」によって、延期になっていました。バスツアーには支部OB会の呼びかけで、OBや家族、支援者の人達、44名が参加しました。

東北の皆さんは7時に西那須野駅を出発し、野崎駅・宇都宮駅からは、県南・県央の皆さんも乗車し、一路国会に向

かいました。

車内では、星野OB会長が今回のツアーの目的、日程等を説明し、その後、参加者の自己紹介などで車内は和やかな雰囲気になりました。

議員会館前には、本部OB会役員が「歓迎の横断幕」を掲げて待つており、参加者全員が感激しました。

早速国会を見学し、参議院本会議場では、係員の説明を熱心に聴きました。

見学後、議員会館に戻り、たしろ議員を囲み昼食会を行いました。昼食後、たしろ議員から「私の出身地の宇都宮を始め、各地からようこそお越し下さいました。皆さんの負託に応えるよう取り組んでいきます」と挨拶がありました。

参加者からの質問や激励の発言に対しても、丁寧に答えてくれました。このたしろ議員の誠実な態度には、OB会員は勿論地元の支持者の皆さんも感激し、来年再び国会に送り出す事を全員で確認しました。

一行はその後、アメリカがビキニ環礁で行った水爆実験で被爆した、「第5福竜丸」が展示してある「夢の島公園」に行きました。展示館の展示資料を見て、原爆の恐ろしさを再認識しました。

再びバスに乗り、首都高から東京スカイツリーを見ながら、全員から感想を頂きました。「原発の再稼働を許さず、集団的自衛権の行使容認に反対し、平和憲法を守るためにも、たしろ議員はなくてはならない存在だ」、「自分には何が出るかがハッキリした」などの感想が述べられました。

今回の取り組みで支部OB会は、このバスツアーを企画し、たしろかおる」が勝利するため

「たしろかおる」が勝利するため

今年度の取り組みで支部OB会は、このバスツアーを企画し、たしろかおる」が勝利するため

今年度の取り組みで支部OB会は、このバスツアーを企画し、たしろかおる」が勝利のため



宇都宮支部OB会のバスツアーの皆さん

わが町の 有名人

宮嶋さんは60才で退職した後、出身地の松本に戻って長野鉄道サービス会社にエルダーとして再就職しました。今はそこも退職し、国宝の松本城の庭園を整備しています。またその一方で長野地本・松本支部OB会の役

わが町の有名人
宮嶋秀明さんを紹介
します。

宮嶋さんは、ジェフ市原時代からの熱心なサッカーファンで、横浜にいた頃は、何回も国立競技場や千葉のフクダ電子アリーナに応援に出かけていたそうです。

生地でJ1応援

松本に帰ってからはしばらくして、地元サッカーの「松本山雅」というチームがあることを知り、3年前にJ2に上がったところから興味を持ち始め



今年「松本山雅」がJ1に昇格しました。宮嶋さんならずとも、地元は山雅ファイバーで盛り上がりがあります。

ました。そして横浜にいた頃を思い出して、山雅のホームゲームに応援に出かけるようになったそうです。

山雅のチームカラーはJR東日本と同じ緑。宮嶋さんの大きな声が、スタンドに響き渡っています。

JR 総連OB 連絡会が 退職者連合との学習会を開く

本部OB会は、JR総連OB連絡会の要請に応じて、退職者連合との学習会に参加しました。

学習会は、3月12日10時より参議院議員会館の会議室で、退職者連合の菅井義夫事務局次長を講師に招いて開催されました。

この学習会には、JR総連OB連絡会の役員の外に、JR総連黒田政治部長(OB担当)、たしろ参議院議員、首都圏在住の東労組、東海労、貨物労組のOB会役員も参加しました。

講師の菅井事務局次長は、学習会に先立ち「私はゼンセン同盟の出身で、現役時代の殆どを組合専従でやってきた。特に官公労と民間労組が統一する取り組みでは、その事務局で働いていた。最後はゼンセン同盟の副会長で辞め、2年前に退職者連合の事務局次長になった」と自己紹介しました。

学習会は、「退職者連合の課題と取り組み」と題して、約1時間30分行われました。内容は、第189通常国会に向けて退職者連合が季節要求として取り組んでいる、「社会保障制度」について丁寧に説明がありました(要旨別記)。

終了後は、全員で国会内の食堂で昼食をとり、これからもJR東労組OB会がJR総連OB連絡会の中心になって、退職者連合との連携を強めていく事を確認しました。



講演する菅井事務局次長(中)

- 第189通常国会に向けた要求(季節要求の要旨)
- 年金制度
 - 名目下限方式を堅持する
 - 年金積立金の投資比率を撤回
 - 医療保険
 - 「混合診療」は導入しない
 - 国保の財政運営を都道府県に移行する
 - 介護保険
 - 地域包括ケアシステムの構築
 - 認知症対策基本法の制定
 - 税制
 - 応能負担に即した制度の確立
 - 法人税の減税に反対

JR 東労組OB 会員の皆様へ

(株)鉄道ファミリーより、昨年に引き継ぎアフラックの「がん保険・医療保険」を夏から秋にかけてご案内させていただきます。

ぜひ、この機会にご家族の皆様と共にご検討の上お申し込み下さい(OB会員は団体割引です)。

* お問い合わせ先 (株)鉄道ファミリー
〒141-0031 東京都品川区西五反田3丁目2番13号
フリーダイヤル 0120-49-8810

JR東労組本部OB会
第19回定期総会

◇ 開催日時
2015年4月22日(水) 12時

◇ 開催場所
JR東労組本部・大会議室

* OB会員の英知を結集し、総会を成功させよう!